

第9回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず「企画シート作成上の注意」をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

| 大学名（フリガナ） | 学部名（フリガナ） | 所属ゼミナール名（フリガナ） |
|-------------------|--------------|----------------|
| フリガナ アイチシュクトクダイガク | フリガナ ビジネスガクブ | フリガナ オオツカゼミナール |
| 愛知淑徳大学 | ビジネス学部 | 大塚ゼミナール |

| チーム名（フリガナ） | 代表者名（フリガナ） | チーム人数（代表者含む） |
|------------|--------------|--------------|
| フリガナ スペアリブ | フリガナ スズキ ホノカ | 5 |
| スペアリブ | 鈴木 穂乃花 | |

研究テーマ（発表タイトル）

レジ袋削減プロジェクト

1. 研究概要（目的・狙いなど）

現在、環境問題の中で特に話題になっているのがレジ袋の問題である。レジ袋削減は以前から提唱され、エコバックの普及が進められてきた。しかしながらエコバックの利用場が主に生鮮食品スーパーで、アパレルや他の小売店では使用されていない。そこで、どのようにしたらよりレジ袋が削減されるのか、エコバックを利用してもらえるのかを調査・分析した。

その結果、アパレルでのエコバック利用は難しいとわかり、その理由を探ることにした。

環境に関して活動している地域で調査し、成功するためには「ピースミール」(既存の秩序や多様性を保ちながら少しだけ変化を加えること)と「自然体」が大切であることがわかった。

調査結果から、レジ袋を抑制しマイバックを推進する仕組みを提案する。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

レジ袋は、年間 300 億枚利用されている。

レジ袋を含むプラスチック製品が川や海へごみとして流れ出ると、生態系に悪影響を及ぼす可能性がある。

国内では年間約 900 万トンのプラスチックごみが排出されており、そのうち約 400 万トンが包装容器やペットボトル、レジ袋といった使い捨てプラスチックである。

ヨーロッパでは、レジ袋削減対策が進んでいる。EU に加盟する全ての国が、2025 年までに使い捨てレジ袋の使用を 1 人あたり 1 年で 40 枚以下に減らすことの義務化を決定した。レジ袋の有料化や、店舗へ税金をかけることでレジ袋削減に繋がっている。日本でも、すべてのスーパーやコンビニで、レジ袋有料化の義務化を目指す動きがある。

3. 研究テーマの課題

レジ袋の削減が叫ばれている中、削減の理由を知らない人が多く、啓蒙活動の必要性がある点。

様々な地域で多様な環境活動を行っているが継続しているところが少ない点。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

提案 スタンプカードで知識を身に付けながら、楽しくレジ袋を削減

ターゲットを大人と子どもにし、それぞれに合ったプロモーションを行う。

【大人】目的：レジ袋の自発的な辞退促進、レジ袋が及ぼす悪影響の認知

実施方法：JAにスタンプ台紙とスタンプを設置。レジ袋を辞退するごとにスタンプをためる。
スタンプの数で、どのような環境貢献ができたのかの見える化をする。

【子ども】目的：環境への意識向上、正しい知識の学習

実施方法：小学校にスタンプ台紙を配布、市内の図書館等にスタンプ台紙を配置。
環境活動を行うごとにスタンプを押してもらい、ためる。
→楽しく知識を身に付け、環境行動を行う動機づけになる

毎年11月に行われる市民祭りにスタンプを貯めた台紙を持ってきてもらい表彰を行う。

この提案を通し、環境に対する正しい知識を身につけてもらい、食品スーパーに行くときだけでなく、コンビニやその他小売店を利用する際にもレジ袋をなるべく断る意識を持ってほしいと考える。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

1. ユニクロに傘を使った共有リユースを提案

家庭で不要になった傘を回収し、私たちがエコバッグにリユース、買い物時に利用してもらう。

→傘でエコバックを作るのに時間がかかる、ユニクロのビジネスモデルを崩してしまうため不採用

なぜ、不採用なのか、どんな提案だったら実行可能なのかを探るため、モデルになる地域の調査を行った。

2. 環境活動を行っている自治体へヒアリングを行った。

・福岡県福岡市西区：共有リユースバック →10年継続し、成果も上がっている

・山口県宇部市：環境地域通貨「エコハ」 →5年前から開始し、現在も継続中

その結果、地域を巻き込む環境活動の成功の秘訣は「ピースミール」と「自然体」であることに気が付いた。

3. 福岡県西区と名古屋市で環境意識の高さのアンケート調査を行った

→他の地域と比べて、福岡県西区は環境意識が高いことがわかり、私たちの気づきが正しいことが証明された。しかし、環境意識が高いにも関わらず、なぜ、レジ袋の削減が必要なのかという問いに正しく答えられた人が少なく、啓蒙活動が必要であることに気が付いた。

4. 市民活動が盛んな長久手市で企画提案・実行へ

小学生～大人をターゲットにし、スタンプカードを配布。このスタンプカードを利用し、正しい環境知識の啓蒙と、環境活動を少しでも楽しくできるよう応援する仕組みを作る。

6. 結果や今後の取り組み

今後、今回提案したイベントを、愛知県長久手市で実施。

今後は効果を測定し、どのような影響を与えることができたのか、効果の調査を行う。

7. 参考文献

- ・歴史主義の貧困—社会科学の方法と実践 カール・R・ポパー
- ・長久手市役所 HP (<http://www.city.nagakute.lg.jp/index.html>) 閲覧日 2018 年 11 月 11 日
- ・毎日新聞「レジ袋の有料配布、義務化検討へ」2018 年 10 月 4 日
- ・「長久手市、「快適度日本一」の街が目指すもの」『東洋経済』2015 年 9 月 15 日
- ・「海漂い、環境壊すごみ マイクロプラスチック」『中日新聞』2017 年 12 月 3 日 朝刊
- ・住みやすい町、日本一「究極の地方創生」はこれだ!-~電子版 5 周年企画「日本経済新聞電子版セクション」2015 年 3 月 23 日
- ・長久手市勢要覧補足資料(長久手市データファイル) 2014 年 3 月 1 日
- ・大府市 「レジ袋を減らして地球温暖化を防止しましょう」2016 年 6 月 7 日

●パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

●発表時に使用する成果物 (例. 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート)

実際に使用する予定のスタンプ台紙

【企画シート作成上の注意】 ※「第9回 西日本インカレ（合同研究会）大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。

- ・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
- ・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、翌年 3 月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。
- ・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ・本企画シートは、作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。
- ・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ・企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版權の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。
- ・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただく場合がございます。
- ・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。